令和３年度　五泉市農業委員会活動計画

農業委員会では、農地等の利用の最適化の推進を図るため、活動目標を設定しました。重点活動の目標値に向けて取り組んでいきます。
一部抜粋して紹介します。計画の全文は市ホームページでも公開しています。

担い手への農地の利用集積・集約化

1　現状及び課題

現　　状 （令和３年3月現在）	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B/A×100)
	5,100　ha	2,611　ha	51.20　%
課　　題	農業従事者の高齢化や新規就農者を含む農業後継者不足等により、農業従事者が減少傾向にあることから、効率的で安定した農業経営を担う中核的な認定農業者等の育成・確保が必要である。		

2　令和３年度の目標及び活動計画

目　　標	集積面積　2,769 ha（うち新規集積面積 158 ha）
	目標設定の考え方：指針により目標設定。
活　動　計　画	・市農林課が実施する「人・農地プラン」の地区説明会等へ積極的に参画し、担い手農家への農地集積・集約化を促進する。 ・市農林課や県普及センター、土地改良区、ＪＡなど関係機関と連携し、制度の周知徹底を図る。

新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1　現状及び課題

新規参入の状況	平成30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数	令和２年度新規参入者数
	1　経営体	1　経営体	2　経営体
	平成30年度新規参入者が取得した農地面積	令和元年度新規参入者が取得した農地面積	令和２年度新規参入者が取得した農地面積
	17.41　ha	0.66　ha	1.40　ha
課　　題	農業経営を営もうとする青年等の新規就農者の確保が必要であるが、安定した高収入が得られるための経営力と基盤となる農地を確保することが重要である。		

2　令和３年度の目標及び活動計画

参入目標数	1　経営体	参入目標面積	0.50　ha
活 動 計 画	・新規就農及び法人化を計画している者へ関係機関と連携し支援する。 ・新規参入を目指すために作物等の具体的な相談を関係機関と連携し、推進する。		

遊休農地に関する措置

1　現状及び課題

現　　状 （令和３年3月現在）	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	5,100　ha	0.00　ha	0.00　%
課　　題	・利用意向調査の回収率の向上を図る。 ・生産コストの高騰に伴う農地の遊休化。 ・耕作条件による収益性の悪い農地の遊休化。		

2　令和３年度の目標及び活動計画

目　　標		遊休農地の解消面積　0.00 ha		
		管内農地面積の１％以下を維持する。		
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数（実数）	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		47人	６月～８月	10月～11月
		調 査 方 法	地区毎の遊休農地の状況把握を行い、意向確認し、対応する。	
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		９月～10月	11月～12月	
	そ　の　他	・関係部局と連携を図る。		